

地域計画

策定年月日	令和7年2月6日
更新年月日	令和8年2月6日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	奈良市 292010
地域名 (地域内農業集落名)	北村地区 (北村町、南庄町)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	13.9 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	13.9 h a
② 田の面積	13.7 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a
(備考) 遊休農地面積〇〇ha（うち1号遊休農地〇〇ha、2号遊休農地〇〇ha）	
⑤は、〇〇市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

本地区は、第二種兼業農家が大半で、生産者の高齢化、担い手不足のため労働効率が不足しており、一部の農地が遊休化し今後も拡大する恐れがある。また、水稻を中心とした自己完結型の営農を営んでおり、肥料の高騰による経費増や農業機械等への過剰投資が顕著である。イノシシ、鹿、猿等による鳥獣被害も増加しており、農作物の生産に影響している。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

農地の集団化、機械化農業の導入による省力化と生産性の高い農業の促進を図る。また、集落営農組織を立ち上げ、将来的に法人に移行し、地域の担い手と連携しながら地域特産品のブランド化を通じ地域の活性化を目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農業者Aと農業者Bとで耕作する農地をすみ分けし、農地中間管理機構を通じて農地の集積をはかり、効率的に利用する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0	%	将来の目標とする集積率 85 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
地域内の農地の85%を担い手（農業者A・農業者B）に集積・集約することし、地区内農家の理解を得る。作物別集団化、耕作者別集団化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地域計画に位置付けられる担い手を中心に集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を積極的に活用する。
(3) 基盤整備事業への取組
区画規模が小さい、ほ場の侵入路が細い、用水路の未整備などにより維持管理や農業経営の規模拡大に支障をきたしている状態にある。このため、農業の生産基盤である耕地の基盤整備と集団化を総合的に実施する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域の農業法人を中心として、多様な経営体を育成・確保をし、継続できる農業を図っていく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
営農組合が中心となり農作業を行う予定であり、地域内の農業法人とも協力し合いながら行うので、当面委託予定はない。ただし、そばや麦を栽培した場合は委託する予定。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	
<p>【選択した上記の取組内容】</p> <p>ほ場整備工事が完了した区域から順次防止柵を設置する。（資材は県より支給、施工は地元）</p> <p>北村町・南庄町の高齢化により離農が進み、担い手が受託する面積が拡大するので、ライスセンター等の農業用施設を設置し、地域で利用する。</p>				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）（別添のとおり）

5 農業支援サービス事業体一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・％）	
-------------	--	---------------	--

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

参考様式第 5 - 2 号

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	農業者A	水稻	0 ha	ha	水稻	10.5 ha	ha		
	農業者B	水稻 施設野菜	0 ha	ha	水稻 施設野菜 農業用施設	3.4 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	2経営体		0 ha	0 ha		13.9 ha	0 ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目